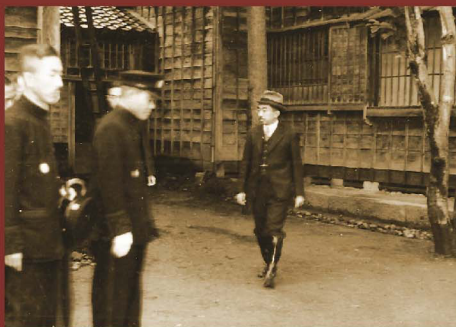




昭和天皇は昭和22年10月、甲信越御巡幸のために新潟県へお出でになり、10月8日・9日は新潟市周辺の視察をされ、新潟県知事公舎へ宿泊された。

10日には巻町、燕市、長岡市を経て、午後4時18分に柏崎駅に到着された。当時の国会議員・県会議員・柏崎市助役・市民代表らに迎えられた昭和天皇は、まず日石柏崎製油所を御覧になった。その後市民奉迎場となった柏崎市陸上競技場で、周辺から集まった数万人の歓迎を受けた。さらに国立新潟療養所にお寄りになり、行在所である新道・飯塚邸に向かわれた。この間数キロの沿道は群衆で埋めつくされ、万歳の声が昭和天皇の御召自動車と共に動き、飯塚邸まで続いたという。

10月10日・11日の2泊を飯塚邸で過ごされた昭和天皇は11日の午前中、前夜の雨で濡れた庭園を長靴で散策なされ、その後裏門から御散歩にお出かけになった。その後1時間半にわたって飯塚邸付近を歩かれた。御巡幸の中では珍しい出来事と言われている。

その後、昭和天皇の御散歩を大変な名誉とし、新道村(当時)の有志で道順に沿って記念の石碑が18カ所に建てられた。表面には碑文としてその場所での出来事と時間が、裏面には寄贈者の氏名が彫られている。

道順をたどって碑文を読むと、終戦から2年経た当時の世相や、昭和天皇のあたたかい人柄を偲ぶことができる。



特産・新道柿ワイン

新道柿栽培組合について

昭和26年に柿苗の定植が完了し、約10ヘクタールの栽培総面積に植えられた3,500本の柿の木から年間約100トンの生産量がある。昭和59年に選果場を新築し、柿ワインなどの加工品も作られ、平成13年から柿の木オーナー制が始められた。新道小学校で所有している11本は、毎年3年生が総合学習の一環として栽培や収穫に取り組んでいる。

昭和天皇御巡幸時の写真は飯塚家第14代当主飯塚知義氏より提供していただきました。本編は昭和22年10月発行の越後タイムス紙並びに小林多吉氏の越後タイムス紙への寄稿文を資料として制作いたしました。

制作◎高田コミュニティ振興協議会

〒945-1122 新潟県柏崎市新道 3388
TEL/FAX 0257-22-4401

昭和天皇の 御散歩道と 新道の柿

昭和二十二年十月十一日 御巡幸の朝

